

アラブと石油

1. 始めに：この数年サダム・フセインやオサマ・ビンラディンなどの名前で日本でも知られるようになったアラブ人の気質・特徴や日常生活について、私が延べ15年住んでいたサウディアラビアでの経験を基に、日本との相違を話し、最後に日本がこの地域から9割近く輸入に頼っている石油の見通しについて話したいと思います。
私は文化人類学や石油工学の専門家ではありませんので、最近テレビで評判になり始めた「トリビアの泉」のアラビアヴァージョンを「門前の小僧が習わぬお経を詠む」くらいの調子で聴いて頂けたらと思います。
2. 略歴：本題に入る前に簡単に自己紹介をします。生まれは江東区扇橋ですが昭和20年3月10日の大空襲前に茨城南西部の水海道に疎開し高校まで過ごし、茨城大学工学部工業化学科（現在は物質工学科）昭和40年卒業後、広島大学工学部化学工学専攻の修士課程を昭和42年に修了した後、大阪の日阪（ひさか）製作所で繊維染色機械や小型造水装置の設計開発に約10年従事。昭和51年現場活動を希望してアラビア石油入社後、主に石油生産施設の仕様設計・建設監督・保守更新・教育訓練に従事し、サウディアラビアのカフジ（15年）・中国の天津市（3年）・広東省（2年）でそれぞれ勤務し平成15年1月定年退職し、現在は無職で千葉県鎌ヶ谷市に在住しています。
3. 気質：アラブ人は、一口で言いますと、非常に誇り高い、独立自尊の気概の強い人々が多い事、共同体としての同朋意識が強く、相互扶助の精神が強い事が特徴として挙げられます。助け合いは後ほど述べる宗教（イスラム教）の基本的な教えの一つでもあります。裏を返せば他人の言う事を中々聞かず、自分に不利益・不都合な事は先ず聞かないし、言い訳（エクスキューズ）を多用し、ばらばらな行動を起し易い人々であろうと思います。外敵には団結して戦うが徹底して最後迄と言う事は無く、良い例がパレスティナ戦争でこの50年に4回ユダヤとアラブは戦いましたが、アラブ諸国は結束出来ず4戦4敗で、現在パレスティナを郷里とするアラブ人は悲惨な生活を送っています。同一部族内では相互扶助の精神は強いのですが、他部族との仲は必ずしも良い訳ではなく時には争いや略奪もあるようで、会社内でも仲が良くない部族同士が互いに「えこひいき」を咎めて、間に立った日本人経営者が困った事もあります。

国を意識する時と言うのは、極端に言えば、イスラエルを非難する時や、ワールドカップやオリンピックのサッカー競技で他国と戦う時と思います。2002年の日韓ワールドカップの時は実況放送を見る為に衛星テレビが爆発的に普及したようで、6時間の時差がありましたから仕事をサボったり、眠い目をしながら出勤してくるアラブ人が多かったようです。

アラブ諸国では身内偏重のえこひいき（ネポティズム）は日常茶飯事として人々に受け入れられています。国家よりも同じ部族や親族を優先しますから、サダムフセインが身内や同じ故郷出身の者達を自分の周りに集め警護させていた事はアラブ社会では生き残る為ごく自然な振舞と受取られています。会社の中でも自分の息子を早く昇格させたり、交通事故を起こした従兄弟を助ける為に無断欠勤をする事などは良くある話でした。ブッシュ大統領がサダム政権を倒した時にこの地域に西欧型民主主義を導入すると演説した為かなり慌てた周辺諸国の支配者が多勢居た筈です。その証拠にサウディのアブドゥッラ皇太子はロシアに飛んで石油を軸に契約を結び、リビアのカダフィは英米による兵器査察受け入れを発表し妥協を図ろうとしています。

4. 地域： アラブと言いますと何処から何処までを指すのか戸惑われる方も居られると思いますので、どのぐらいの地域で、その中の国々はどのようなものがあるかお話しします。アラブ人は主にアラビア半島を中心に北はシリア、南はソマリア、西はモロッコ、東はオマーン等に多く住んでおり、21の国と地域（パレスティナ）でアラブ連盟（Arab League）を結成し4億人弱いて殆どの人々がイスラム教を信仰しています。

余談ですが、現在アラビア半島とシリア・イラク・イラン・ヨルダン・レバノン地域を日本の外務省やマスコミは「中東」と呼び習わしていますが、この言葉はバルカン半島やトルコを「近東」、その周辺地域を「中東」と称し、20世紀始めに西欧列強がオスマントルコ衰退後の植民地を分割支配する為に便宜的に付けた軍事作戦用語ですので、我々日本人はアラブ人と対等につき合う為にも、単に西アジア或いは南西アジアと呼ぶのが適切と思います。

人種は違いますが同じイスラム教を信じる人々の多い国々54ヶ国でイスラム諸国連合（OIC）を結成し、15億人近い人々が含まれています。人口の多い順に挙げますと1.インドネシア2.パキスタン3.中国4.インド5.バングラデシュ6.ナイジェリア7.エジプト8.イラン9.トルコ10.アルジェリア等です。

政治的に今は少数派ですがイスラム教徒はロシア・フランス・イギリス・アメリカ・カナダ・フィリピンにも多勢いて無視できない勢力となりつつあります。イスラム教徒は人口増加率が高く2020年には世界人口の3分の1約20億人になるようです。

アラブ人が多くを占める南西アジア地域はアラビア半島とその北辺のメソポタミア地方からなります。現在の国名で言えば北からシリア・イラク・レバノン・ヨルダン・サウディアラビア・クウェート・バハレーン・カタール・アラブ首長国連邦・オマーン・イエメンの国々とパレスティナ地域から成り、アラブ世界の中核となっています。